



平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年1月10日

上場会社名 株式会社ライフフーズ

上場取引所

大

コード番号 3065

URL <http://www.meshiya.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役会長兼社長（氏名）清水三夫

問合せ先責任者（役職名） 常務取締役兼執行役員（氏名）吉岡利行

（TEL）06(6338)8331

総務本部長兼経理部長

四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年2月期第3四半期の業績（平成24年3月1日～平成24年11月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	9,165	2.4	358	22.5	390	25.6	154	△26.7
24年2月期第3四半期	8,952	0.7	292	43.5	311	38.1	210	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	8 50	—
24年2月期第3四半期	11 51	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	7,307	3,395	46.5
24年2月期	7,657	3,396	44.4

（参考） 自己資本 25年2月期第3四半期 3,395百万円 24年2月期 3,396百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0 00	—	0 00	0 00
25年2月期	—	0 00	—		
25年2月期（予想）				0 00	0 00

（注） 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の業績予想（平成24年3月1日～平成25年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,233	3.2	340	3.4	363	1.7	139	△29.1	7 60

（注） 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年2月期3Q	18,302,000株	24年2月期	18,302,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年2月期3Q	1,001,667株	24年2月期	1,667株
----------	------------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年2月期3Q	18,157,997株	24年2月期3Q	18,300,333株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

また、当社は平成24年10月15日開催の取締役会において、「株式給付信託（J-E S O P）」を導入することを決議し、平成24年10月22日付で、資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）（以下「信託E口」といいます。）が当社代表取締役会長兼社長清水三夫より、当社株式1,000,000株を取得しております。信託E口が所有する当社株式については、自己株式に含めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する定性的情報	2
（2）財政状態に関する定性的情報	2
（3）業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
（3）追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
（1）四半期貸借対照表	5
（2）四半期損益計算書	7
（3）継続企業の前提に関する注記	8
（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要に伴い改善しているものの、欧州債務危機問題や中国等新興国経済の減速による不安定な為替相場や株式市場の低迷等、継続的な景気の先行き不透明感の中で推移しました。

外食産業におきましても、消費増税に対する懸念や、雇用、所得環境の改善の足踏み状態が続くなか消費は弱含んでおり、厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社は、一汁三菜をコンセプトに、旬の素材を使った高品質とおいしさにこだわった低価格定食屋業態「街かど屋」を事業の柱として店舗展開をおこなっております。並行して、できたてメニューにこだわったカフェテリア業態「ザめしや」等の既存店舗の強化と、店舗開発及び不採算店舗の撤退を進めております。

また、各業態ごとに期間限定メニューを導入し、「ザめしや」では高級感のあるうなぎまぶし御飯やまぐろ漬御飯等の季節御飯や、牛すき鍋やかき土手鍋等の鍋メニューの販売、「街かど屋」ではカレーかつ定食やデミかつ定食等の鉄皿での各種とんかつ定食の販売に続き、肩ロースステーキ定食やひとくち豚テキ定食等の各種定食を鉄皿で販売しました。「めしや食堂」ではめんたいこ御飯や手延素麺『揖保乃糸』の販売、「讃岐製麺」では、とろーり玉子の肉ぶっかけうどんやゆず入り焼き茄子となめこのおろしぶっかけうどん等を販売し秋のぶっかけフェアを実施しました。

当第3四半期累計期間の店舗展開につきましては、新規出店が1店舗、閉店が1店舗となった結果、店舗数は120店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、既存店売上高の増加による影響で、売上高は9,165,042千円（前年同四半期比 2.4%増）、営業利益は賃借料の減少等コスト削減効果の影響で358,025千円（前年同四半期比 22.5%増）、経常利益は390,561千円（前年同四半期比 25.6%増）、四半期純利益は法人税等の増加による影響で154,284千円（前年同四半期比 26.7%減）となりました。

（2）財政状態に関する定性的情報

（資産の部）

流動資産は、「株式給付信託」（J-E S O P）の導入に伴う自己株式の取得による現金及び預金の減少等により3,972,610千円（前事業年度末は4,022,674千円）となりました。有形固定資産は、既存店舗の減損損失による特別損失の計上や減価償却が進んだことで1,826,968千円（前事業年度末は2,016,670千円）、投資その他の資産は差入保証金の回収が進んだことで1,465,086千円（前事業年度末は1,570,830千円）となり、資産の部合計は、7,307,914千円（前事業年度末は7,657,804千円）となりました。

（負債の部）

流動負債は、未払法人税の増加等により、2,227,843千円（前事業年度末は1,984,523千円）となりました。固定負債は、社債及び長期借入金の減少等により1,684,208千円（前事業年度末は2,276,703千円）となり、負債の部合計は3,912,052千円（前事業年度末は4,261,227千円）となりました。

（純資産の部）

純資産合計は、「株式給付信託」（J-E S O P）の導入による自己株式の増加等により3,395,862千円（前事業年度末は3,396,577千円）となりました。これにより、当第3四半期会計期間末の自己資本比率は46.5%（前事業年度末は44.4%）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

「街かど屋」「めしや食堂」「讃岐製麺」業態の新規出店と既存店売上高の回復を推進し、スクラップ&ビルドにより出・退店は新規出店10店舗、閉店3店舗で当期末店舗数は127店舗を予定しております。

当期の見通しとしましては、売上高は12,233,065千円（前年同期比3.2%増）、営業利益は340,773千円（前年同期比3.4%増）、経常利益は363,199千円（前年同期比1.7%増）、当期純利益は139,064千円（前年同期比29.1%減）を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

① 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

② 株式給付信託(J-E S O P)に関する会計処理方法

当社は平成24年10月15日開催の取締役会において、従業員の新しい福利厚生サービスとして自社の株式を給付し、株価および業績向上への従業員の意欲や士気を高めることを目的として、「株式給付信託(J-E S O P)」を導入することを決議しました。

この導入に伴い平成24年10月22日付で資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)(以下「信託E口」といいます。)が当社代表取締役会長兼社長清水三夫より、当社株式1,000,000株を取得しております。

当該株式給付信託に関する会計処理については、当社と信託E口は一体であるとする会計処理をしており、信託E口が所有する当社株式や信託E口の資産及び負債並びに費用及び収益については四半期貸借対照表及び四半期損益計算書に含めて計上しております。

このため自己株式数については、信託E口が所有する当社株式を自己株式数に含めて記載しております。なお、平成24年11月30日現在において信託E口が所有する自己株式数は1,000,000株であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,612,456	3,515,286
売掛金	8,564	12,256
商品	3,972	803
原材料及び貯蔵品	51,946	57,563
繰延税金資産	92,285	136,388
その他	253,450	250,312
流動資産合計	4,022,674	3,972,610
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,754,590	1,617,122
その他	262,080	209,846
有形固定資産合計	2,016,670	1,826,968
無形固定資産	47,628	43,249
投資その他の資産		
差入保証金	1,236,665	1,139,721
繰延税金資産	193,978	192,976
その他	140,697	132,898
貸倒引当金	△510	△510
投資その他の資産合計	1,570,830	1,465,086
固定資産合計	3,635,130	3,335,304
資産合計	7,657,804	7,307,914
負債の部		
流動負債		
買掛金	303,299	335,897
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	681,267	681,276
未払法人税等	67,463	202,399
賞与引当金	107,151	184,409
その他	785,340	783,860
流動負債合計	1,984,523	2,227,843
固定負債		
社債	110,000	80,000
長期借入金	1,277,372	816,414
長期預り保証金	151,800	124,623
退職給付引当金	261,669	274,801
その他の引当金	69,402	72,903
その他	406,458	315,465
固定負債合計	2,276,703	1,684,208
負債合計	4,261,227	3,912,052

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期会計期間 (平成24年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,838,526	1,838,526
資本剰余金	1,537,526	1,537,526
利益剰余金	20,906	175,191
自己株式	△382	△155,382
株主資本合計	3,396,577	3,395,862
純資産合計	3,396,577	3,395,862
負債純資産合計	7,657,804	7,307,914

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)
売上高	8,952,230	9,165,042
売上原価	2,678,883	2,783,836
売上総利益	6,273,346	6,381,205
販売費及び一般管理費	5,981,098	6,023,180
営業利益	292,248	358,025
営業外収益		
受取利息	5,879	5,985
受取家賃	191,603	165,713
その他	40,810	44,780
営業外収益合計	238,293	216,479
営業外費用		
支払利息	32,729	24,192
賃貸収入原価	182,303	157,529
その他	4,446	2,221
営業外費用合計	219,478	183,943
経常利益	311,063	390,561
特別利益		
過年度損益修正益	2,739	—
固定資産売却益	35,000	—
受取補償金	66,666	—
債権取立益	—	12,080
特別利益合計	104,405	12,080
特別損失		
有形固定資産除却損	30,398	4,929
減損損失	36,474	68,750
店舗閉鎖損失	9,628	909
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	58,724	—
その他	14,368	—
特別損失合計	149,594	74,589
税引前四半期純利益	265,874	328,051
法人税等	55,268	173,767
四半期純利益	210,606	154,284

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は平成24年10月15日開催の取締役会において、「株式給付信託（J－E S O P）」を導入することを決議し、平成24年10月22日付で、資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が当社代表取締役会長兼社長清水三夫より、自己株式1,000,000株を155,000千円で取得しております。